インストールガイド

AXIS Q1602 ネットワーク カメラ

AXIS Q1604 ネットワーク カメラ

日本語

このマニュアルについて

本書は、お使いのネットワークに AXIS Q1602/Q1604 **をインストールする方法について説明しています。ネットワークの構築経験をお持ちの場合は、本製品のインストールに役立ちます。**

法律上の注意事項

ビデオまたは音声監視は法律によって禁止されている場合があり、その内容は国によって異なります。本製品を監視用途でご利用になる前に、ご利用頂く地域の法律を確認してください。
本製品には H.264 **デコーダー用のライセンスが** 1 **つおよび** AAC **デコーダー用のライセンスが** 1 **つ含ま れています。追加ライセンスのご購入については、**Axis **製品の販売店にお問い合わせください。**

電波に関する適合性 (EMC)

本装置は無線周波数を発生および使用し、また放射する可能性があるため、指示通りに設置および使用されていない場合は、無線通信に有害な妨害をもたらす恐れがあります。ただし、特定の設置で妨害が生じないという保証はありません。

本装置がラジオまたはテレビ受信機に対して有害な妨害を招き、本装置の電源の入 / 切を行うことによって本装置が原因であると確認できた場合は、次の 1 **つまたはそれ以上の措置にしたがって妨害を是正してください。受信アンテナの方向または位置を変更する。本装置と受信機の間隔を広げる。本装置を、受信機が接続されているものとは異なるコンセントに接続する。販売店または経験を積んだラジオ / テレビ技術者に相談する。**EMC **基準に準拠するには、本装置と一緒にシールド付き** (STP) **ネットワークケーブルを使用する必要があります。**

米国 **- 本装置は** FCC **基準のパート** 15B **に基づき、クラス** B **コンピューターデバイスの規定範囲に準拠しているかどうかの審査を受け、認証済みです。**FCC **基準のパート** 15B **は、装置を商業環境内で作動させた場合、干渉などから適度な保護を提供するように設計されています。居住地区での本装置の動作は干渉を引き起こす可能性が高くなります。その場合、ユーザーは干渉をなくす措置を自費で行わなければなりません。**

カナダ **- このクラス** B **デジタル装置は、カナダの** ICES-003 **に準拠しています。**

ヨーロッパ **- CE 本デジタル装置は、**EN55022 **の規定範囲** B **に準拠した放射妨害波に関する要件、また居住地および商業地域での** EN55024 **の規定範囲に準拠した耐性に関する要件を満たしています。**

日本 **- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会** (VCCI) **の基準に基づくクラス** B **情報装置です。この装置を家庭環境でラジオやテレビ受信機に近接して使用すると、無線妨害を引き起こすことがあります。取扱説明書にしたがって正しく設置し、使用してください。**

オーストラリア **- この電子機器は、無線通信 (電磁適合性) 基準** AS/NZS CISPR22 **の要求を満たしています。**

韓国 - 이 기기는 가정용(B급)
전자파적합기기로서 주로 가정에서 사용하는 것을
목적으로 하며, 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

装置の改造

本装置は、必ず本書やユーザーズマニュアルの手順にしたがって設置および使用してください。本装置には、ユーザーが交換や修理を行える部品は含まれていません。無許可で装置を変更したり、改造したりした場合、適用されている規制証明や認可がすべて無効になります。

責任

本書の制作には細心の注意を払っていますが、不正確な記述や脱落、乱丁または落丁を見つけられた場合は、最寄りの Axis **事業所までご連絡ください。また** Axis Communications AB **は、技術的な間違いや誤字 • 脱字などに対して責任を持たず、予告なく製品や文書の記載内容に対して変更、修正を行う権利を保持します。**Axis Communications AB **は、本書に含まれる内容について、商用性および製品の特定用途に対する適性についての黙示的な保証を含め、一切保証を行いません。**Axis Communications AB **は、この資料の提供、パフォーマンス、使用に関連した付随的または結果的な損害に対して責務および責任を負いません。**

RoHS

本製品は、欧州 RoHS **指令** (2002/95/EC) **および中国** RoHS **指令** (ACPEIP) **に適合しています。**

WEEE 指令

欧州連合では、電気および電子装置廃棄物についての指令 2002/96/EC (WEEE **指令**) **を導入しました。この指令は、欧州連合加盟国に適用されます。**
本製品またはその資料の WEEE **マーク (右側を参照) は、家庭のゴミと一緒にこの製品を捨ててはならないことを示しています。人間の健康および / または環境への害を防止するために、本製品は承認を受けた環境的に安全なリサイクルプロセスで処分することが必要です。本製品を正しく処分する方法について詳しくは、製品のサプライヤーまたはご使用地域でのゴミ処理を担当する地域当局にご連絡ください。**
業務ユーザーの方は、本製品の正しい処分方法について、製品のサプライヤーまでご連絡ください。本製品は、他の産業廃棄物と混合しないでください。

サポート

技術サポートが必要な場合は、Axis **製品の販売店にお問い合わせください。**Axis **販売店がお客様のご質問にすぐに回答できない場合は、適切な部門に転送し、早急に回答いたします。インターネットをご利用の場合は、次のことが行えます。**

- **ユーザーズマニュアルやファームウェアの更新をダウンロードする。**
- FAQ **データベースで問題の解決方法を見つける。製品別、カテゴリー別、または語句を使用して検索する。**
- **専用サポートエリアにログインして、**Axis **サポートに問題を報告する。**

AXIS Q1602/Q1604 **は** A3.0V CR2032 **リチウムバッテリーを使用しています。**

安全確保

製品をインストールする前に、本インストールガイドをよくお読みください。インストールガイドは今後参照するために保管しておいてください。

⚠ 警告！

- Axis **製品を輸送する場合には、製品が損傷するのを防ぐために元の梱包または類似した梱包を使用してください。**
- Axis **製品を保管する際には、乾燥した換気のよい環境で行ってください。**
- **製品が損傷する可能性があるため、振動、衝撃または強い圧力が製品にかからないようにし、カメラを不安定なブラケット、不安定な場所、振動する場所や壁に取り付けないでください。**
- Axis **製品を取り付ける際は、手動工具のみを使用してください。電動工具を使用したり、過剰な力をかけると製品が損傷することがあります。**
- **化学薬品、腐食剤、噴霧式クリーナーは使用しないでください。クリーニングを行う場合には湿った布を使用してください。**
- **製品の技術仕様に準拠したアクセサリーのみを使用してください。このようなアクセサリーは** Axis **またはサードパーティから購入できます。**
- Axis **が提供または推奨する交換部品のみを使用してください。**
- **製品を自分で修理しないでください。修理に関しては** Axis **または** Axis **販売店にお問い合わせください。**

⚠ 重要！

- **本** Axis **製品は、お使いになる国・地域の法律および規制にしたがって使用してください。**
- Axis **製品を屋外で使用するには、承認された屋外ハウジングを利用して設置を行ってください。**

バッテリーの交換

本 Axis **製品は、内部のリアルタイムクロック** (RTC) **用電源として** 3.0V CR2032 **リチウムバッテリーを使用しています。通常、このバッテリーは最低** 5 **年間使用できます。バッテリーが低電力の状態となると、**RTC **の動作に影響し、電源オンのたびにリセットされます。バッテリーの交換が必要になった場合、ログメッセージが表示されます。バッテリーは、このように必要な場合以外には交換しないでください。**

バッテリーの交換が必要になったときは、www.axis.com/techsup **を参照してください。**

- **バッテリーは、正しく交換しないと爆発する危険があります。**
- **メーカーが推奨する同じバッテリーまたは同等のバッテリーのみと交換してください。**
- **使用済みバッテリーを廃棄する際は、メーカーの指示にしたがって処分してください。**

ドームカバーの掃除

- **ドームカバーに傷が付いたり破損しないように、注意して取り扱ってください。肉眼で見て汚れがない場合は掃除しないでください。また、絶対に表面を磨かないでください。過度な清掃により、表面が破損することがあります。**
- **一般的なドームカバーの掃除には、研磨剤が含まれない無溶媒の中性石鹸または洗剤と水、柔らかい布を使用することをお勧めします。きれいなぬるま湯でよくすすいでください。ウォータースポットを防ぐため、柔らかい布でふき乾かしてください。**
- **強力な洗剤、ガソリン、ベンジン、アセトンなどは絶対に使用しないでください。また、直射日光が当たる場所や気温が上昇する場所での清掃は避けてください。**

AXIS Q1602/Q1604 ネットワークカメラインストールガイド

このガイドでは、AXIS Q1602/Q1604 **ネットワークカメラ** (**以下、ネットワークカメラ**) **をお使いのネットワークにインストールする手順について説明しています。製品の使用についてのこの他の詳細については、ユーザーズマニュアルを参照してください。ユーザーズマニュアルは、製品に付属の** CD **または** Axis **のホームページ** (www.axiscom.co.jp) **からご覧いただけます。**

日本語

インストール手順

次の手順で、ローカルネットワーク (LAN) **にネットワークカメラをインストールしてください。**

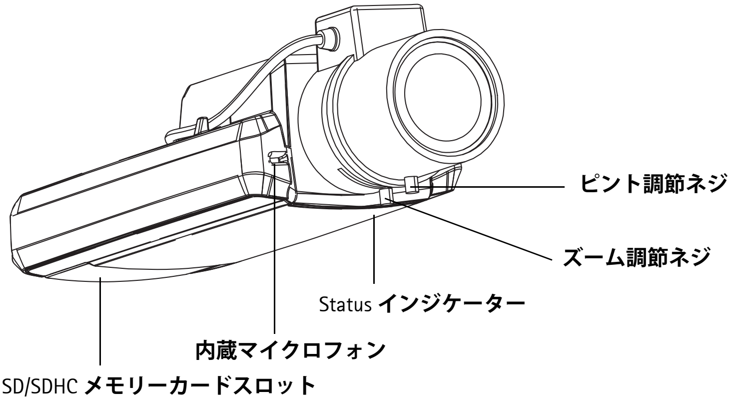
1. **下のリストで、パッケージの内容を確認してください。**
2. **ハードウェアの設置。**7 **ページを参照してください。**
3. IP **アドレスの設定。**8 **ページを参照してください。**
4. **パスワードの設定。**12 **ページを参照してください。**
5. **ズームとピント合わせ** 15 **ページを参照してください。**

重要！
本製品はお使いになる国の法律および規制にしたがって使用してください。

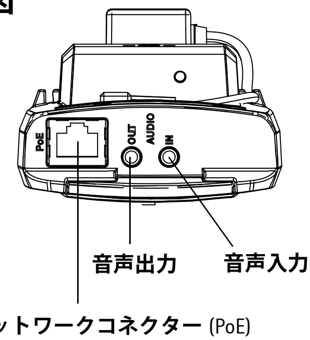
❶パッケージの内容

品目	モデル / 型 / 注
ネットワークカメラ	AXIS Q1602, AXIS Q1604
電源コネクター	電源入力用の 2 ピンのターミナルコネクター
ターミナルブロックコネクター	I/O ターミナルコネクターに外付けデバイスを接続するための 4 ピンコネクターブロック
カメラスタンド	
CD	AXIS ネットワークビデオ製品 CD (製品マニュアル、インストールツール、その他のソフトウェアを含む)
印刷物	AXIS Q1602/Q1604 インストールガイド (本書) Axis 保証契約約款 予備のシリアル番号ラベル AVHS 認証キー
オプションアクセサリー	電源用アクセサリーおよび屋外ハウジングについては、www.axiscom.co.jp を参照してください。

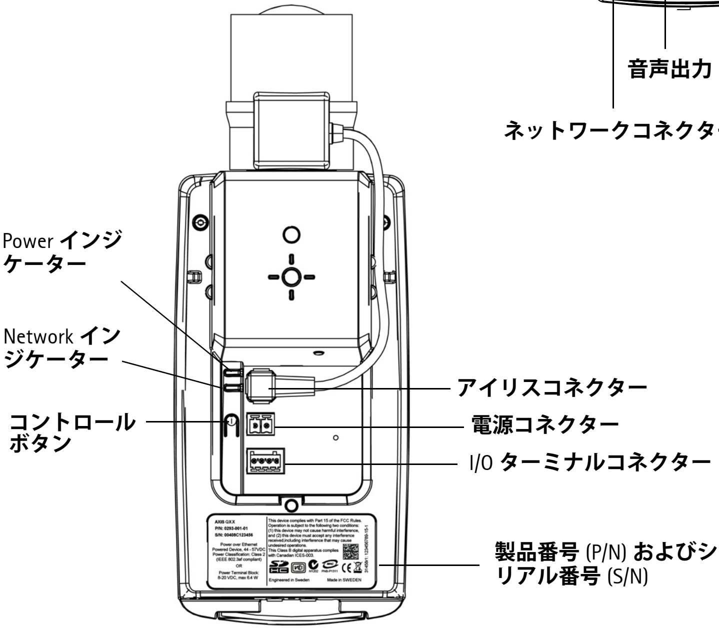
❷ハードウェアの概要



背面図



上から見た図



寸法

モデル	高さ x 幅 x 奥行き	重量
AXIS Q1602	46 x 78 x 192 mm	585 g
AXIS Q1604	46 x 78 x 192 mm	585 g

③ハードウェアのインストール

! **重要！** -AXIS Q1602/Q1604 **は、屋内および屋外での使用のために設計されています。カメラを屋外で使用する場合は、専用の屋外用ハウジングを利用して設置を行ってください。屋外ハウジングの詳細については、** www.axiscom.co.jp **を参照してください。**

ケーブルを接続する

1. **必要に応じて、アラームデバイスなどの外部デバイスをネットワークカメラの** I/O **ターミナルコネクターに接続します。ターミナルコネクターピンについては、**21 **ページを参照してください。**
2. **必要に応じて、アクティブスピーカーや外部マイクロフォンを接続します。**
3. **シールド付きネットワークケーブルを利用して、カメラをネットワークに接続します。**
4. **以下のいずれかの方法を利用して、電源を接続します。**
   - PoE (Power over Ethernet)。PoE **は、ネットワークケーブルを接続すると自動的に検出されます。**
   - **電源コネクターブロックに外部電源アダプターを接続します。配線については、各種コネクター** , 20 **ページを参照してください。**
5. **インジケーターの状態を確認してください。詳細については、**22 **ページの表を参照してください。**Status **インジケーターは通常動作中に消灯するように設定できます。**

Cold Start-up Delay (コールド起動の遅延) スイッチ

AXIS Q1602/Q1604 **のスイッチを有効にします。**

この Axis **製品で使用されるハウジングには、**Arctic Temperature Control (**極寒温度コントロール**) **機能が搭載されています。**Cold Startup Delay (**コールド起動の遅延**) **スイッチを** I (**オン**) **に設定すると有効になります。有効にすると、この機能は、気温が** 0° C **未満の場合に停電後にカメラが再起動するとき、カメラがまず** 0° C **に温められてから初期動作をするように制御します。この機能は、気温が** 0° C **未満の場合に損傷を受けやすいカメラパーツの損傷を防ぎます。**

❹IP アドレスの設定

現在、ほとんどのネットワークでは、DHCP サーバーを使用して自動的に接続デバイスに IP アドレスを割り当てています。ネットワークに DHCP サーバーが導入されていない場合、ネットワークカメラは、192.168.0.90 をデフォルトの IP アドレスとして使用します。

Windows **環境では、**AXIS IP Utility **または** AXIS Camera Management **をご使用ください。これらは無償のソフトウェアで、製品に付属の** CD **に収録されています。また、**Axis **のホームページからダウンロードしてご利用いただけます。インストールするカメラの台数に応じて、最適な手段をお選びください。**

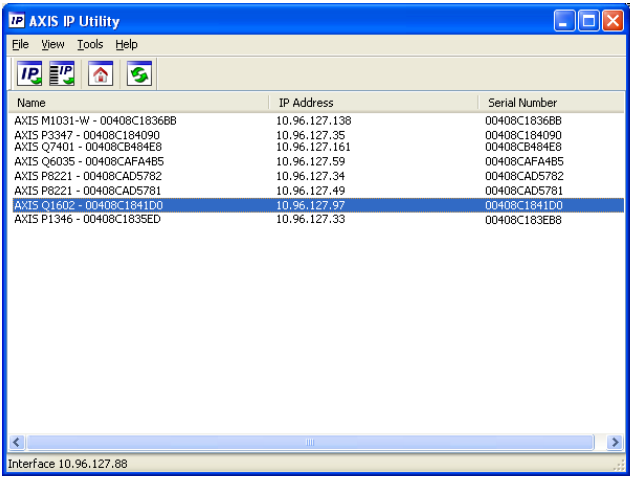
使用できる手段	**推奨される製品設置環境**	**オペレーティングシステム**
AXIS IP Utility 9 **ページ参照**	1 **台のカメラ** **小規模インストール**	Windows
AXIS Camera Management 10 **ページ参照**	**複数台のカメラ** **大規模インストール** **異なるサブネットでのインストール**	Windows 2000 Windows XP Pro Windows 2003 Server Windows Vista Windows 7

注意：

- IP **アドレスの設定が行えない場合は、ファイアウォールによって設定が妨げられていないかどうか確認してください。**
- **他の** OS **を使用する場合など、その他の** IP **アドレスの設定および検出方法については、**18 **ページを参照してください。**

AXIS IP Utility を利用する (1 台のカメラ / 小規模インストール向き)

AXIS IP Utility **は、ネットワーク上の** Axis **デバイスを自動的に検出して表示します。また、手動で固定の** IP **アドレスを設定することができます。**



ネットワークカメラは、AXIS IP Utility **が動作しているコンピューターと同じネットワークセグメント** (**物理サブネット**) **に接続されていることが必要です。**

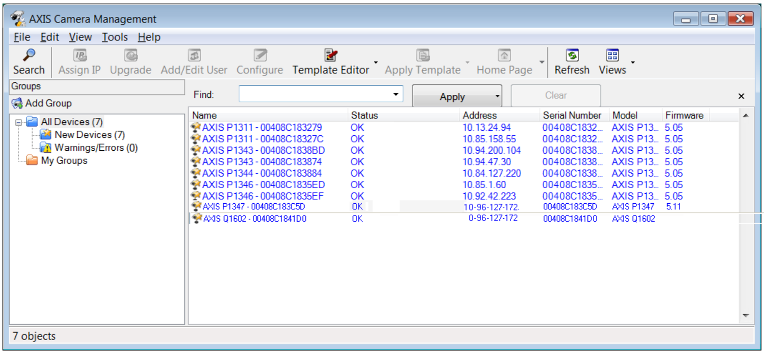
自動検出機能

1. **ネットワークカメラがネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。**
2. AXIS IP Utility **を起動します。**
3. **ウィンドウでネットワークカメラが表示されたら、ダブルクリックしてそのホームページを開きます。**
4. **パスワードの設定方法については、**12 **ページを参照してください。**

IP アドレスの手動設定 (オプション)

1. **コンピューターと同じネットワークセグメント上で、未使用の** IP **アドレスを入手します。**
2. **リストでネットワークカメラを選択します。**
3. [Assign new IP address to the selected device(**選択したデバイスに新しい** IP **アドレスを設定**)] **ボタン**  **をクリックして、**IP **アドレスを入力します。**
4. [Assign (**設定**)] **ボタンをクリックし、指示にしたがいます。**
5. [Home Page (**ホームページ**)] **ボタンをクリックして、カメラの** Web **ページにアクセスします。**
6. **パスワードの設定方法については、**12 **ページを参照してください。**

AXIS Camera Management (複数台のカメラ / 大規模インストール向き)

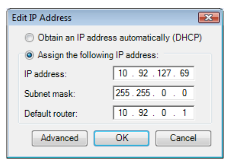


AXIS Camera Management **はネットワーク上の** Axis **ビデオ製品を自動的に検出し、**IP **アドレスの設定、接続ステータスの表示、ファームウェアのアップグレードなどを複数台のデバイスに対して行うことができるソフトウェアです。**

自動検出機能

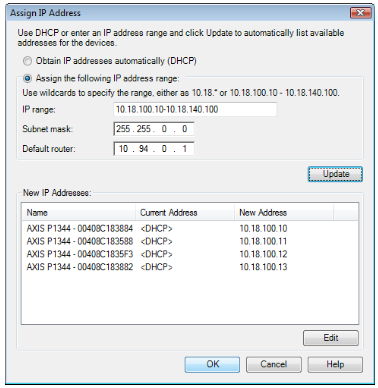
1. **カメラがネットワークに接続され、電源が入っていることを確認します。**
2. AXIS Camera Management **を起動します。ウィンドウにネットワークカメラが表示されたら、リンクを右クリックして、**[Live View Home Page (**ライブビューホームページ**)] **を選択します。**
3. **パスワードの設定方法については、**12 **ページを参照してください。**

1 台のデバイスに **IP** アドレスを設定する



1. **一覧から設定を行うネットワークカメラを選択し、**[Assign IP (IP **を設定**)] **ボタン**  **をクリックします。**
2. [Assign the following IP address (**次の** IP **アドレスを設定**)] **を選択し、デバイスに設定する** IP **アドレス** (IP address)**、サブネットマスク** (Subnet mask)**、デフォルトルーター** (Default router) **を入力します。**
3. [OK] **をクリックします。**

複数のデバイスの IP アドレスを設定する



AXIS Camera Management **を利用すると、特定の範囲から** IP **アドレスが選択されて複数のデバイスにまとめて** IP **アドレスを割り当てることができ、設定作業を迅速化することができます。**

1. IP **アドレスを設定する複数のデバイス (異なるモデルも選択可能) を** Shift **キーを使って一覧から選択し、**[Assign IP (IP **を設定**)] **ボタン**  **をクリックします。**
2. [Assign the following IP address range (**次の** IP **アドレス範囲を設定**)] **を選択し、デバイスが使用する** IP **アドレスの範囲、サブネットマスク、デフォルトルーターの値を入力します。**
3. [Update (**更新**)] **をクリックします。設定される** IP **アドレスが** [New IP Addresses (**新しい** IP **アドレス**)] **の下に一覧表示されます。この一覧を編集するには、デバイスを選択して** [Edit (**編集**)] **ボタンをクリックします。**
4. [OK] **をクリックします。**

❺パスワードの設定

製品にアクセスするには、デフォルトの管理者ユーザー root 用のパスワードを設定する必要があります。この設定は、ネットワークカメラに初めてアクセスしたときに表示される、[Configure Root Password (ルートパスワードの設定)] ダイアログで行います。

root パスワード設定時にネットワーク上で盗聴されるのを防ぐため、パスワードの設定は暗号化された HTTPS 接続を使用して行うことができますが、この場合には HTTPS 証明書が必要です。

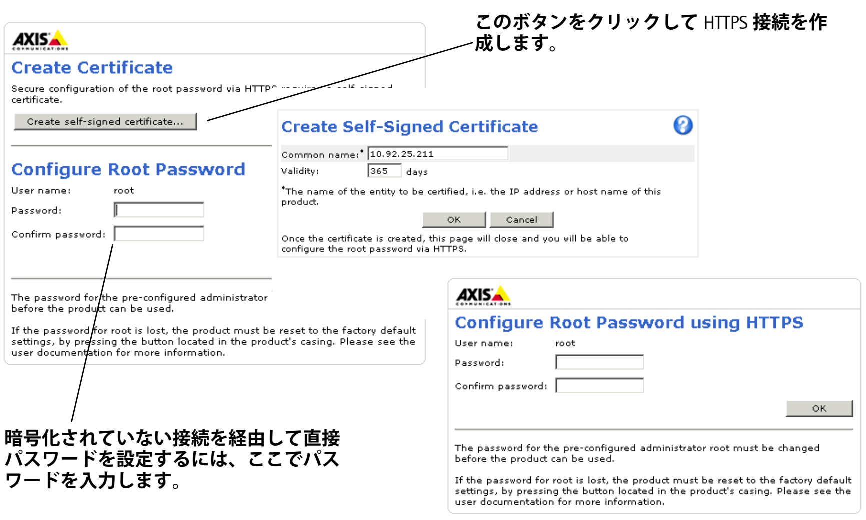
注意 :

> HTTPS (Hypertext Transfer Protocol over SSL) は Web ブラウザーとサーバー間のトラフィックを暗号化するためのプロトコルです。HTTPS 証明書は暗号化された情報の受け渡しをコントロールします。

標準 HTTP 接続でパスワードを設定するには、以下の最初のダイアログに直接入力してください。

HTTPS 暗号化接続を使用してパスワードを設定するには、次の手順にしたがってください。

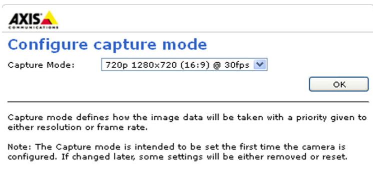
1. [Create self-signed certificate (自己署名証明書の作成)] ボタンをクリックします。
2. 必要な情報を入力して [OK] をクリックします。証明書が作成され、これで安全な状態でパスワードを設定できます。この時点から、ネットワークカメラとの間で送受信されるすべてのデータトラフィックが暗号化されます。
3. パスワードを入力し、スペルミスがないかを確認するために再入力します。[OK] をクリックします。これでパスワードの設定が完了しました。



4. **ログインするには、画面の要求にしたがってユーザー名 "root" を入力します。**

注意： デフォルトの管理者ユーザー名である root は削除できません。

5. **上記の手順で設定したパスワードを入力し、[OK] をクリックします。パスワードを忘れてしまった場合、工場出荷時のデフォルトの設定にカメラをリセットする必要があります。23 ページを参照してください。**



6. AXIS Q1604 **：キャプチャーモードは、製品に初めてアクセスしたときに設定する必要があります。必要なキャプチャーモードを選択し、[OK] をクリックします。Axis 製品の使用場所に合う電源周波数 (50 ヘルツまたは 60 ヘルツ) のキャプチャーモードを選択し、[OK] をクリックします。50 ヘルツの場合は、最大のフレームレートが 25 fps に制限されます。**

注意： 電源周波数は、地域によって異なります。東日本では 50 ヘルツが使用され、西日本では 60 ヘルツが使用されています。

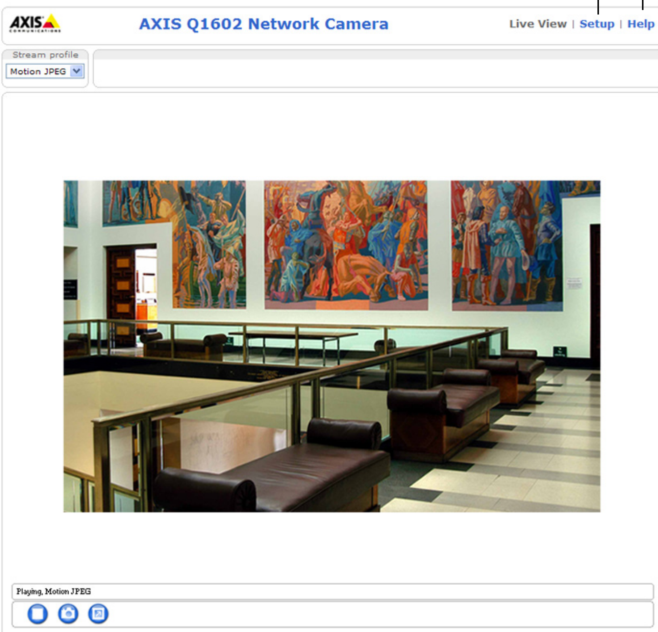
7. **必要な場合、[Yes (はい)] をクリックして AMC (AXIS Media Control) をインストールすると、Internet Explorer でビデオストリームを表示できます。インストールするには、コンピューターの管理者権限が必要です。**

注意： Windows Vista 環境に AMC をインストールするには、管理者権限で Internet Explorer を実行する必要があります。[Internet Explorer] アイコンを右クリックし、[管理者として実行] を選択します。

8. **ネットワークカメラの** [Live View (**ライブビュー**)] **ページが表示されます。ここには** [Setup (**設定**)] **へのリンクがあり、このリンクを使用してカメラをカスタマイズできます。**

Setup - **お客様の要件にしたがってカメラを設定するために必要なすべてのツールを提供します。**

Help - **カメラの使用に関する総合的なオンラインヘルプが表示されます。**



❻ ズームとピント合わせ

ズームとピント合わせを行うには、次の手順にしたがいます。

1. **製品のホームページを開き、**[Setup (**設定**)] > [Basic Setup (**基本設定**)] > [Focus (**フォーカス**)] **を開きます。**
2. [Basic (**ベーシック**)] **タブの** [Open iris (**絞りを開く**)] **をクリックします。ボタンが押せない状態になっている場合は、絞りは既に開いています。**
3. **以前にピント合わせを行ったことがある場合は、**[Reset (**元に戻す**)] **ボタンをクリックしてバックフォーカスをデフォルトの状態に戻してください。**
4. **ズーム調節ネジとピント調節ネジを反時計回りに回して緩めます。画像の状態を確認しながら、ズーム位置を決定し、続いてピント合わせを行います。**

注意： 画像を見て調節ねじを同時に動かすことができないようにカメラが取り付けられている場合、代わりにフォーカスアシスタントを使用します。16 ページを参照してください。

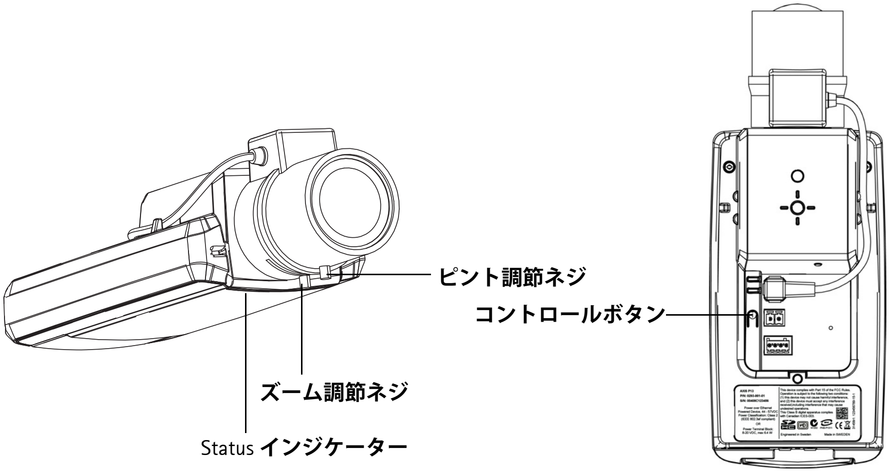
5. **ズーム調節ネジとピント調節ネジを締めます。**
6. [Focus (**フォーカス**)] **ページで、**[Fine-tune focus automatically (**自動的にフォーカスを微調整**)] **ボタンをクリックします。ピント合わせの微調整が自動的に行われます。**
7. [Enable iris (**絞りを有効化**)] **をクリックします。ボタンが押せない状態になっている場合は、絞りは既に有効になっています。**
8. **より正確なピント合わせを行う場合は、**[Advanced (**高度な設定**)] **タブをクリックします。詳細については、オンラインヘルプまたはユーザーズマニュアルを参照してください。**

注意：

- 自動微調整を利用する前に、ピント調節ネジまたはフォーカスアシスタントを利用してできるだけ正確にピント合わせを行ってください。通常は、ピント調節ネジを利用して最も良い状態を得ることができます。

日本語

- **ピント合わせを行っている際は、絞りは常に全開放にしてください。被写界深度が最も浅くなり、ピント合わせに最適な状態を得ることができます。**



フォーカスアシスタント

フォーカスアシスタントを使用してネットワークカメラのピントを合わせるには、次の手順に進む前に 15 **ページの** 1 **～** 3 **の手順にしたがってください。**

1. **カメラが動かないようしっかりと固定してください。**
2. **ズーム調節ネジを反時計回りに回して緩めます。ズーム位置を決め、ズーム調節ネジを締めて固定します。**
3. **ピント調節ネジを緩め、レンズを時計回りに最後まで回し、最も離れた位置にピントを合わせカメラを設定します。**
4. **コントロールボタンを押してすぐに離します。**Status **インジケーターが緑色に点滅し、フォーカスアシスタント機能が有効になります。**
   Status **インジケーターが赤またはオレンジ色で点滅している場合は、手順** 7 **へ進んでフォーカスアシスタント機能を一旦終了し、手順** 3 **～** 7 **をやり直してください。以下の注意を参照してください。**
5. **レンズを、止まるまで反時計回りにゆっくりと回転させます。**
6. Status **インジケーターが緑色またはオレンジ色** (**赤ではありません**) **で点滅するまでレンズをゆっくりと時計回りに回します。**
7. **コントロールボタンを押してフォーカスアシスタント機能を無効にします。**

注意：

フォーカスアシスタント機能は、15 **分経過すると自動的にオフになります。**

8. **ピント調節ネジを締めて固定します。**
9. Web **ブラウザーで** [Live View (**ライブビュー**)] **ページを表示し、画質を確認してください。**
10. **次に** 15 **ページの** 6 **～** 8 **の手順を行います。**

注意：

- **ピント合わせをしている最中には、カメラの前の被写体を変えないでください** (**手順** 5 **と** 6)**。カメラを動かした場合、またはレンズ前に指やケーブルなどが入ってしまった場合などは、手順** 3 **～** 7 **を再度行ってください。**
- **被写体がどうしても動いてしまう場合は、フォーカスアシスタントは使用しないでください。**
- **コントロールボタンを** 2 **秒以上押した場合、フォーカスアシスタント機能が有効となる代わりに** AXIS Internet Dynamic DNS **サービスが有効になります。**
- **コントロールボタンの操作が困難な場所にカメラを設置する場合でもフォーカスアシスタント機能を利用できます。上記の手順にしたがいますが、手順** 4 (**コントロールボタンを押す**) **の後にカメラを取り付け、手順** 7 **をスキップします。**

日本語

IP アドレスのその他の設定方法

次の表では、その他の IP アドレスの設定または検出方法を説明しています。すべての方法はデフォルトで有効になっていますが、無効にすることもできます。

	対応オペレーティングシステム	注意
AVHS サービス接続	すべて	カメラを AVHS サービスに接続するには、サービスプロバイダーのインストールガイドを参照してください。最寄りの AVHS サービスプロバイダーについての情報や検索方法については、www.axis.com/hosting を参照してください。
UPnP™	Windows	コンピューターで有効に設定されている場合、カメラが自動的に検出されて、[マイネットワーク / ネットワーク] に追加されます。
Bonjour	Mac OS X (10.4 以降)	Bonjour に対応したブラウザーで使用できます。ブラウザー (Safari など) の Bonjour ブックマークに移動し、リンクをクリックしてカメラの Web ページにアクセスします。
AXIS Dynamic DNS Service	すべて	Axis が無償で提供するサービスで、カメラをすばやく簡単にインストールできます。サービスの利用には、HTTP プロキシーを使用しないインターネット接続が必要です。詳細については、www.axiscam.net を参照してください。
ARP/Ping	すべて	以下を参照してください。コマンドの発行は、カメラに電源を接続してから 2 分以内に行う必要があります。
DHCP サーバー	すべて	DHCP サーバーの管理者ページを表示する方法については、サーバーのマニュアルを参照してください。

AXIS Video Hosting System (AVHS)

カメラを AVHS サービスに接続してビデオをホスティングすることもできます。AVHS サービスに加入している場合は、サービスプロバイダーのインストールガイドの指示にしたがってください。最寄りの AVHS サービスプロバイダーの詳細や検索方法については、www.axis.com/hosting を参照してください。

Camera owner authentication key (カメラ所有者の認証キー) が本製品に添付されています。このキーは、ラベルの上部に記載されているカメラに一意のシリアル番号 (S/N) と関連付けられています。

注意 :

このキーは、今後参照するために保管しておいてください。

ARP/Ping を使用して IP アドレスを設定する

1. **コンピューターが接続されているネットワークセグメントと同一のネットワークセグメントで未使用の** IP **アドレスを入手します。**
2. **カメラのラベルでシリアル番号** (S/N) **を探します。**
3. **コンピューターでコマンドプロンプトを開き、次のコマンドを入力します。**

Windows の構文
arp -s <IP アドレス > < シリアル番号 > ping -l 408 -t <IP アドレス >
Windows の例
arp -s 192.168.0.125 00-40-8c-18-10-00 ping -l 408 -t 192.168.0.125

UNIX/Linux/Mac の構文
arp -s <IP アドレス > < シリアル番号 > temp ping -s 408 <IP アドレス >
UNIX/Linux/Mac の例
arp -s 192.168.0.125 00:40:8c:18:10:00 temp ping -s 408 192.168.0.125

4. **ネットワークケーブルがカメラに接続されていることを確認します。次に、電源を取り外してから接続し直し、カメラを起動 / 再起動します。**
5. **画面に** 'Reply from 192.168.0.125:...' **またはこれに類似する応答メッセージが表示されたら、コマンドプロンプトを閉じます。**
6. **ブラウザーのロケーション / アドレスフィールドに**「http://<IP **アドレス** >」**と入力し、キーボードの** Enter **キーを押します。**

注意 :

- Windows **でコマンドプロンプトを開くには、[スタート] メニューから [ファイル名を指定して実行 ...] を選択し、**「cmd」**を入力してから、**[OK] **をクリックします。**
- Windows 7 **または** Windows Vista **で** ARP **コマンドを使用するには、コマンドプロンプトのアイコンを右クリックし、**[Run as administrator (**管理者として実行**)] **を選択します。**
- Mac OS X **で** ARP **コマンドを使用するには、**Application > Utilities **の** Terminal utility **を使用します。**

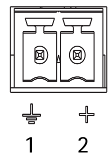
各種コネクター

ネットワークコネクター – 一般的な RJ-45 **コネクターを利用してネットワークに接続します。**PoE **を利用してネットワーク経由で電源を供給することができます。シールド付きネットワークケーブル** (STP) **の使用をお勧めします。**

注意！

製品をご使用になる地域の規制または環境および電気条件によっては、シールドケーブル (STP) **の使用が適切または必要な場合があります。屋外環境または屋外に類似した環境にネットワークケーブルを配線する場合、そのような特定用途に適したシールドケーブル** (STP) **をご使用ください。ネットワークスイッチが正しく接地されていることを確認してください。規制要件については、電磁環境適合性** (EMC) **を参照してください。**

電源コネクター – 電源入力用に使用する 2 **ピンのコネクター ブロック** .

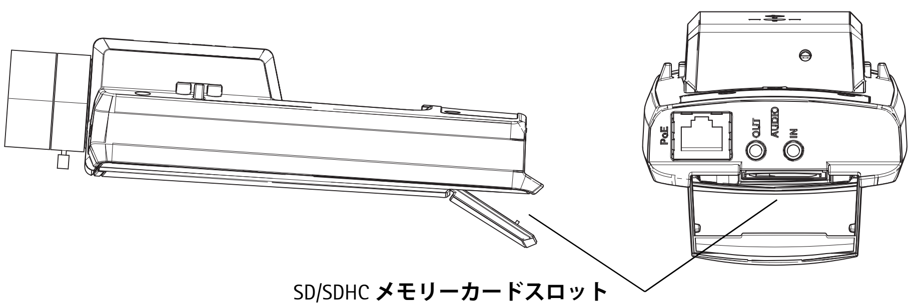


機能	ピン番号	説明	
GND	1	**グランド**	
DC **電源**	2	**電源入力：**8 ～ 20V DC	10W (**最大**)

音声入力 – 3.5mm **モノラルマイクロフォン、またはラインインモノラル信号** (**ステレオ信号の場合は左チャンネルだけを使用**) **入力ソケットです。**

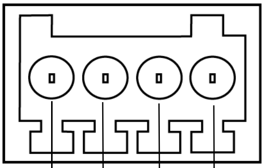
音声出力 – 音声出力 (**ラインレベル**) **には、アンプ内蔵スピーカーや** PA **システムを接続することができます。音声出力への接続には、ステレオコネクターを使用してください。**

SD/SDHC **メモリーカードスロット** – SD/SDHC **メモリーカードを利用して、録画データをローカルに保存します。**



SD **カードを挿入する場合は、ネットワークカメラの背面にある** SD **カードカバーを持ち上げて** SD **カードを注意深くスロットに差し込んでください。**

SD **カードを取り出す場合は、カバーを持ち上げてから、**SD **カードを軽く押して取り出してください。**



I/O ターミナルコネクター - 動体検知、イベントトリガー、録画、アラーム通知などのアプリケーションで使用。補助電源と GND **ピンのほかに、次のインターフェースを提供します。**

- 1 **つのデジタル出力** - **リレーや** LED **などの外部デバイスを接続します。接続したデバイスは、**VAPIX® API (**アプリケーションプログラミングインターフェース**)、[Live View (**ライブビュー**)] **ページの出力ボタン、または** [Action Rule (**アクションルール**)] **で動作させることができます。アラームデバイスが起動されると、出力は** active **と表示されます** ([System Options (**システムオプション**)] > [Ports & Devices (**ポートとデバイス**)] **の下に表示**)。
- 1 **つのデジタル入力** - **オープンサーキットとクローズサーキットの切り替えが可能なデバイス** (**たとえば、**PIR、**ドア** / **窓のコンタクト、ガラスが割れた場合の検出器など**) **を接続するためのアラーム入力。信号を受け取ると、状態が変化して入力が** active (**有効**) **になります** ([System Options (**システムオプション**)]>[Ports & Devices (**ポートとデバイス**)] **の下に表示**)。

機能	**ピン**	**注意**	**仕様**
GND	1	**グランド**	
3.3V DC **電源**	2	**補助デバイスに電源を供給することができます。注意：このピンは電源出力のみとして使用できます。**	**最大負荷** = 50mA
デジタル入力	3	**動作させるには** GND **と接続します。無効にする場合はフロート状態** (**または未接続**) **としてください。**	0 〜 +40V DC
デジタル出力	4	**アクティブにした場合にグランドに内部接続、アクティブでない場合はフロート状態** (**未接続**)。**リレーなどの誘導負荷とともに使用する場合は、電圧過度現象に対する保護のためにダイオードを負荷と並列に接続する必要があります。**	**最大負荷** = 100mA **最大電圧** = +40V DC

インジケーター

LED	色	説明
Network	緑色	100Mbps ネットワークに接続されている場合に連続点灯します。ネットワークアクティビティがあると点滅します。
	オレンジ色	10Mbps ネットワークに接続されている場合に連続点灯します。ネットワークアクティビティがあると点滅します。
	消灯	ネットワークに接続されていません。
Status	緑色	正常動作時に、緑色で連続点灯します。 注意：Status インジケーターは、通常動作中に消灯させたり、ネットワークカメラへのアクセス中にだけ点滅するよう設定できます。設定するには、[Setup (設定)] > [System Options (システムオプション)]> [LED settings (LED の設定)] を使用します。詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
	オレンジ色	ネットワークカメラの起動中、工場出荷時の状態へのリセット中、および設定を復元している時にオレンジ色で点灯します。
	赤色	低速で赤色で点滅している場合は、ファームウェアのアップグレードが正しく行われていません。
Power	緑色	正常に動作しています。
	オレンジ色	ファームウェアのアップグレードを行っている間、緑色とオレンジ色で交互に点滅します。

フォーカスアシスタント機能使用時の Status インジケーター

Status インジケーター	色	説明
	緑色	ステップ 4：フォーカスアシスタントが有効な状態 ステップ 6：ピント合わせが適切に行われている状態
	オレンジ色	ステップ 4：カメラが動いてしまった、またはレンズの前に何かが入り込んでしまった状態。フォーカスアシスタントを一旦終了してから再度機能を有効にしてください。 ステップ 6：ピント合わせが適切に行われていない状態
	赤色	ステップ 4：カメラが動いてしまった、またはレンズの前に何かが入り込んでしまった状態。フォーカスアシスタントを一旦終了してから再度機能を有効にしてください。 ステップ 6：ピント合わせが適切に行われていない状態

工場出荷時のデフォルトの状態にリセットする

以下の方法を利用してリセットを行うと、IP アドレスやピント設定を含むすべてのパラメーターが工場出荷時の状態にリセットされます。

1. **ネットワークカメラの電源を切ります。**
2. **コントロールボタンを押しながらネットワークカメラの電源を入れます。**
3. **ステータスインジケーターがオレンジ色で点灯するまでコントロールボタンを押し続けます (約 15 秒程かかります)。**
4. **コントロールボタンを離します。ステータスインジケーターが緑色で点灯します (1 分程かかる場合があります)。ネットワークカメラは、工場出荷時のデフォルト設定にリセットされました。**
5. **本書で説明する方法で IP アドレスを設定し直します。**
6. **本書で説明する方法でカメラのピントを再度合わせます。**

パラメーターを工場出荷時のデフォルトの設定にリセットするには、Web インターフェースを使用することもできます。詳細については、オンラインヘルプまたはユーザーズマニュアルを参照してください。

インターネットを経由してネットワークカメラにアクセスする

インストールが完了すると、お使いのローカルネットワーク (LAN) でネットワークカメラにアクセスできるようになります。インターネットを経由してネットワークカメラにアクセスする場合は、トラフィックを受け入れられるようネットワークルーターを設定する必要があります (通常、特定のポートで行われます)。

- **閲覧と設定を行う場合は、HTTP ポート (デフォルトポート：80)**
- **H.264 ビデオストリームを閲覧する場合は、RTSP ポート (デフォルトポート：554)**

詳細については、お使いのルーターのマニュアルを参照してください。このトピックおよびこの他のトピックについての詳細は、Axis のサポートサイト (www.axis.com/techsup) を参照してください。

日本語

関連情報

ユーザーズマニュアルは、本製品に付属の CD **または** Axis **のホームページ** (www.axiscom.co.jp) **からご覧いただけます。**

> **ヒント：**
> www.axis.com/techsup **にアクセスして、ネットワークカメラのファームウェアの更新がリリースされていないかどうか確認してください。現在インストールされているファームウェアのバージョンを確認するには、カメラの** Web **ページにある** [Setup (**設定**)] > [About (**製品情報**)] **を参照してください。**

インストールガイド Ver.1.1
AXIS Q1602/Q1604 ネットワークカメラ **作成日** : 2012 **年 4 月**

製品番号 : 45733